

相模原市総合写真祭

フォトシティさがみはら

TOPICS



昭和100年、戦後80年の今年は写真表現が誕生して200年



ハテナ?! の気持ちで撮影すると写真が変わる!



写真家、エッセイスト
ハービー・山口先生

プロに学ぼう!

春のフォトクラス@旧石器ハテナ館

2025年3月9日開催



史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館



ハテナ館のマスコット
ハテくんとテナちゃん



▲遺跡公園での撮影会のような
カーテン布を持ちこんで布越しの撮影

今年も、春に実施した親子写真教室。暖かな陽射しに恵まれる中、旧石器ハテナ館とその遺跡公園を会場としてハービー・山口先生を講師に迎えました。旧石器ハテナ館は日本列島最古級の約2万年前の住居状遺構が発掘され、国の史跡指定を受けてから今年で26年目。人類の歴史をたどる貴重な遺跡や出土品について解説をいただいたあと、写真撮影にチャレンジしました。今やスマホやタブレットを使い誰もがたやすく写真を撮ることができるようになりました。だ

からこそ大昔の便利な器具も何もない旧石器時代の暮らしに思いを馳せ、ハテナ館でできる想像力をたくましくして時間を感じるような、ちょっとした工夫を加えて撮影してみよう、写真を撮りながら歴史を感じてみよう、とハービー先生が呼びかけます。見上げてみる、跳びあがってみる、先生もカーテンなど日常の品物を持ち込んで撮影会が

始まりました。きちんとした写真を撮ろうとすると却って写真がつまらなくなる、遊び心あってこそ、また、被写体となる相手に愛あるコミュニケーションを働きかけることでクリエイティブ性を生み出す。ハービー先生のわかりやすく難しい指導に、参加者全員がワクワクと写真と歴史に遊ぶ一日を楽しみました。私たちのまちにあるハテナをみつけながら、また、子どもたちの成長を実感できるフォトクラスでした。次回は、みなさんも一緒にしませんか?

▼自由な発想で貼ったり描いたり



● 撮影作品をスライドにして発表。参加者が持ち込まれた楽器の即興による演奏をBGMにしてみんなで鑑賞。

●自分たちのお気に入りの撮影写真をプリントして切り貼り。ハービー先生が用意された下絵に写真を貼り絵を描いたり、色紙やシールをアレンジ。ラストは掲げて記念撮影。



▲これが準備された下絵

▲写真中央にハービー先生

DOCUMENT! 記録! EXPRESS! 表現! MEMORY! 記憶!

相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら実行委員会
事務局・相模原市文化振興課 TEL042-769-8202